



こんにちは!!

やまがたむら 議会 です



議会運営にタブレットが
導入されました

発行：長野県山形村議会（代表）大月民夫

編集：議会広報編集特別委員会

山形村ホームページ <https://www.vill.yamagata.nagano.jp/>

TEL0263-98-3111



通学路に歩道設置工事契約 可決

長年要望のあった村道1級4号線（集落から横手ヶ崎信号機まで）に歩道設置契約が可決しました。今年度中に設置が完了予定です。鉢盛中学校へ通学の安全が向上することが期待されます。

一般質問

セブンが村政課題について質す

◎小出 敏裕 ・村民の健康づくり推進を

◎三澤 一男 ・空き家を活用した地域振興策は

◎春日 仁 ・人口減少・少子高齢化・移住定住促進について

◎新居 禎三 ・ヤングケアラー支援について

・各選挙での投票率向上の取組みについて

◎大池 俊子 ・なろう原霊園に合葬墓の創設を

・山形村でも女性消防団員の導入と機能別消防団員の確保を

◎上條 倫司 ・地域コミュニティの方向性について

◎福澤 倫治 ・マイナンバーカードの普及率と今後の対応について

・村の主幹作物の長芋の掘り取り機械に対する補助制度の創設について

魅力ある村づくり

主役はあなたです

議会モニター募集中

村民の皆様の貴重な声を議会に届けてください。
あなたの応募をお待ちしています。



令和6年 第2回山形村議会定例会

令和6年第2回山形村議会定例会が6月5日開会し、13日まで9日間開催された。

令和6年度補正予算など19件（請願3件、陳情2件「継続審査1件」、報告2件、議案10件、追加議案1件）を審議し、全請願・陳情を採択し、全議案を可決した。

一般質問は7人が登壇し、6日に村政全般について質問を行なった。

主な議案の審議結果

[illegible]

総務産業常任委員会委員長あいさつ

小林 幸司



今年4月の臨時議会において後半2年間の委員会の編成により、総務産業委員長に選任されました。本年は10月に山形村開村150年を迎える記念すべき年であります。この時期に議員として行政に携わることができて身の引き締まる思いです。

今山形村が抱えている課題はいろいろあります。コミュニケーションの問題、松枯れの対応、東野尻地区の産業団地誘致など解決しなければならぬ問題が山積みです。様々な考え方がありますが、一つひとつ解決していくことが大切だと考えています。

福祉文教常任委員会委員長あいさつ

小出 敏裕



令和6年第2回議会臨時会において、福祉文教常任委員長に選任されました。昨年、第6次山形村総合計画がスタートしています。

総合計画に記載されているとおり、少子高齢化による人口減少と多様化する村民のニーズに 대응べく、皆様のご意見を拝聴しながら、子育て・教育・福祉・環境など、委員会所管事項を委員一丸となり、「住んで良かった」「住み続けたい」村づくりを目指してまいります。今後とも、皆様のご協力をお願いいたします。

令和6年 第2回山形村議会臨時会

令和6年4月23日 第2回山形村議会臨時会が開催され

- * 山形村税条例の一部を改正する条例
- * 山形村国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- * 令和5年度山形村一般会計補正予算

それぞれの専決処分の承認を求められ、それぞれ承認しました。

また、令和6年度一般会計補正予算の議案が提出され、審議の結果 可決されました。

引き続き、議員任期2年が経過し申し合わせにより、正副議長より辞表が提出され、それぞれ選挙が行なわれ、新たな正副議長が選出されました。

また、各常任委員会、松本市・山形村・朝日村中学校組合議会議員の構成も下記のように選出されました。

議 長 大月 民夫 副議長 春日 仁

総務産業常任委員会

委 員 長 小林 幸司	委 員 竹野入 恒夫	委 員 上條 倫司
副委員長 百瀬 昇一	委 員 三澤 一男	委 員 大月 民夫

福祉文教常任委員会

委 員 長 小出 敏裕	委 員 福澤 倫治	委 員 大池 俊子
副委員長 新居 禎三	委 員 春日 仁	

議会運営委員会

委 員 長 三澤 一男	委 員 小林 幸司
副委員長 大池 俊子	委 員 小出 敏裕

松本市・山形村・朝日村中学校組合議会議員

大月 民夫	春日 仁	小出 敏裕	福澤 倫治
新居 禎三	大池 俊子	百瀬 昇一	

一般質問

議員7名が

村政を問う

一般質問は6月5日、議員7名が登壇、村政全般について質問を行なった。

地域コミュニティの方向性について 村長 地域コミュニティは住民自治の課題



上條 倫司 議員

Q 連絡班、アパートへの文書配布の件数は。

A 連絡班へは千860戸、アパートへは180戸、合計2千48戸に文書を配布している。

未加入世帯は4月30日現在千231世帯あり、文書をトレセン、役場、いちいの里のいずれかに取りに来てもらっているが、未加入の方がどれくらい取りに来ているかどうかまでは把握していない。

Q 連絡班と常会をどのように区分し、どのように考えているか。

A 連絡班とは村と地域のパイプ役を担い、村とともに住みよい地域づくりを目指した縦の繋がりを持ったものと考えている。役割と

しては情報伝達、防犯・防災活動、環境美化活動、村全体の交流・親睦活動があげられる。常会とは地域の繋がりでできた地縁団体と考えており、そこにはお祭りだったり、子どもの行事だったり、三九郎だったり親から子、子から孫へと伝えていくものがあり、地域に根差した活動をする横の繋がりをもったものだと考える。

Q コミュニティ検討委員会の答申が出されて何年にもなるが、どのように考えているか。

A 区長の会からの要望を受け、平成30年度には地域コミュニティに関する検討委員会を設置し、具体的な検討を行なっていた。また行政懇談会においても地域の課題を提起し、多くの村民の方からも意見をいただいた。

区長の会・検討委員会の意向に合わせて、村の施策としては役職や金銭の負担軽減のため、交通安全協会代議員64名の廃止、防犯協会の部会編成の見直しにより53名から29名に役員数を見直した。また健康づくり推進協議会の構成員から区長の職名委嘱を外すなどの見直しを並行して行なってきた。

平成31年3月には当委員会報告と提言をいただいている。検討委員会の報告では、連絡班未加入の理由としては、役が大変だ、お金がかかる、などが主な要因だとされている。

また提言としては役職の軽減・組織事業の見直し、経済的な負担を解消すること、討論

会やシンポジウムを開催し多くの村民の方に関心をもっていただくことが重要だと指摘を受けている。

この提言に沿って、役職の軽減・組織事業の見直しでは、令和3年度で健康づくり推進員制度を廃止している。また公民館の役員については、公民館長・分館長へ役員の負担軽減について協力をお願いをしている。また、令和5年度からは連絡長が寄付金や社協の会費などを徴収することは行なわないこととした。

また区長と共催で、連絡班未加入で具体的な改革案をお持ちの2名の方から意見を聞く会を開催した。

今後も重要課題として取り組んでいくが、地域コミュニティは住民自治の課題であるため、見直し案については地域の皆さんの考え方が集約できるかがポイントになると考える。



村民の健康づくり推進を

村長 村内医療機関の協力のもと、健康づくり推進を図る



小出敏裕 議員

Q 特定健診受診率が増加しない要因と未受診の理由は。

A 増加しない要因には、内的・外的要因

がある。電話による受診勧奨時、「定期受診」「健康に自信がある」「忙しく時間がない」などの返答があった。今年度から、健診の実施方法を見直し、受診率向上を目指している。受診率が国の目標値とかけはなれている理由は。

A 村の実情を踏まえ現実的な目標値を設定したため。

Q 肺がんのCT検査が2年に一度に変更となった理由は。

A CT検査の被曝量とがん発見率については、医療機関や医師により見解が分かっている。また、国立がん研究センターは、健常者に毎年のCT検査は推奨できないとの見解であることや近隣市の肺がんCT検査の状況を鑑み変更をした。

Q がん検診にSIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）を活用する予定はあるか。

A SIBは官民連携の手法で、行政の課題解決やコスト削減に効果があるが、デメリットもあるので、情報収集を行ないながら将来的に活用できるか検討したい。

Q 保険者努力支援制度の評価点の改善は。

A 今年度から、本人の了解を得て、村内医療機関と協力し「みなし健診」を始めた。また、評価点改善に向け、関係部署と連携し取組み強化を図っている。



特定健診の様子

移住促進のプロジェクトチームを編成してみてもいいか

村長 各課連携で取り組むことが必要だと思う



春日 仁 議員

Q 「お試し住宅」の稼働状況と実際に利用されて当村への移住をされた件数は。

A 令和5年度は19組が189日利用し、稼働率は51・8%である。その内山形村に移住をされた件数は2件である。

Q 今後「住まいる奨励金」をどのようにお考えか。

A この補助金については、令和7年3月までの時限的な補助金となっていて、継続するか否か検討する。その他の移住施策として、県で実施している「U・I・Jターン就業・創業移住支援金」も予算化している。

Q 当村を選んで移住していただくために給食費無償化や未満児保育料無償化などの整備が必要だと思うが所見は。

A 子育て世代にとっては、子育て支援策の充実が重要な施策となる。給食費無償

化・未満児保育料の無償化については、来年度に向けての重要な検討課題になると考えている。



お試し住宅

なろう原に「合葬墓」の創設を

村長 住民ニーズに対して再検討の時期がきている



大池 俊子 議員

Q 今までも、合葬墓問題は何人かの議員

「10年後20年後どうするかを考えたい。要望のある方に対し話もうかがって。」と答弁されたが、その後どう調査し、意見聴取され判断されたか。

A 近隣や県内の設置市町村への視察や聞き取りをし、新型コロナで中断したが、先月には諏訪郡の自治体へ視察した。

Q 最近亡くなられた方は、遺書まで書かれ、埋葬せずに家に置かれていて、合葬墓ができるのを待ち続けている。ずっと合葬墓を望んでいた方である。早急に創設してほしいがどうか。

A 数年前に担当課の調査結果での検討では「当面は建設しない」と判断したが、新型コロナ収束後はお墓に対する考え方も多様になったと感じている。合葬墓建設が全てを解決するとは思ってはいないが、様々なニーズに行政としてどう向き合っていくか、再検討する時期がきている。

その他、山形村でも女性消防団員の導入と機能別消防団員の確保を、について質問した。



なろう原霊園

負担になっっている子どものケアラーへの支援は

村長 協議会で連携を図り支援につなげたい



新居 禎三 議員

Q 村内の「ヤングケアラー」の実態把握

のための調査は行なわれているのか。

A 介護保険に該当しない若い世代の家庭でケアが必要な家族が居るのか、調査は行なわれていないので、実態把握についてどのような方法で行なえば良いのかを含め検討していく。

Q ヤングケアラー当事者に対する相談体制はどのようになっているのか。

A 子どもたちの生活実態や状況を把握している学校の先生たちから、スクールソーシャルワーカーや子育て支援課への相談という形で関係者が協力して支援を行なっていく。

Q 役場担当課や教育委員会などの連携体制は構築されているか。

A 関係部署や有識者などで構成される、要保護児童対策地域協議会で定期的に情報交換を行ない連携を図っている。

その他、各選挙での投票率向上の取組みについて質問した。

【ヤングケアラーって?】

ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行なっている子どものことです。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

出展：子ども家庭庁 ホームページより

障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。	家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。	障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。	目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。	日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。
家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。	アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。	がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。	障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。	障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

マイナンバーカードの普及率と今後の対応について

令和6年4月30日現在の村の人口8,491人に対し、村マイナンバーカード申請率81.42%、交付率73.27%



福澤 倫治 議員

Q 交付手続きしていない方への対応は

交付手続きが出来ない方への対応は。

A 本年12月に健康保険証と一体化される案内を7月ごろ送付し、周知すると共に申請を促す予定。

今年度、村内6か所の公民館・公会堂や保健センターにおいて出張申請を行なったり、どうしても出向けない方についてはご自宅へ訪問して申請サポートするよう検討する。

Q カード返納者は。

空き家を活用した地域振興策は

長 民泊や飲食店への転換は、村 対策の一つとして有効と認識している



三澤 一男 議員

Q 村の調査で空き家が114軒あると報告されているが所有者は確認できているか。

が114軒あると報告されているが所有者は確認できているか。

A 空き家のうち104軒の所有者は確認できている。10軒は確認できていないが、管理不全空き家については所有者をすべて把握

A 昨年の12月以降はありません。

Q 村長として村民益を守る立場から、今後残された時間が少ない中での対応は。

引き続き申請率・交付率の向上へ向け引き続きかけていく。特に小さなお子さんや体の不自由な高齢者の皆さんがカード申請に懐疑的だとも聞いている。マイナンバーカードを持たない皆様には今後「資格確認証」が交付され、これまで同様の医療等が受けられるようだ。

村の主幹作物の長芋の掘り取りの機械に対する補助制度の創設について

Q 村の主幹作物「特産品」の長芋の掘り取り機械を購入する補助を、村の農林業振興事業補助金交付要綱に付け加えられないか。

している。その他の空き家についても、必要があれば関連法令に基づき調査を行う。

Q 空き家バンク登録者も増えているようだが、空き家の後利用については確認しているか。

令和5年度には8件の登録があったが、空き家等利用促進協議会会員村内5社の協力で賃貸・販売契約に繋がっている。

A 商工会、観光協会と連携し観光による地域おこしとして空き家利用の農業体験型の民泊、飲食店転換支援は。

A 財源や補助事業としての妥当性について検討が必要だ。

Q 特産品の長芋を村の農業からなくしてしまうようなことになれば、村の農業の未来がなくなるがどうか。

A 生産者の皆さんやJA等との連絡会議の折などに、具体的な要望が出されれば事業の予算規模・費用対効果、また補助事業としての妥当性などについて検討したいと思う。



長芋を掘る機械

A 空き家バンク登録については、居住を目的とした建築物を対象にしているが、施策として有効だと認識している。



度重なる無投票は地方自治の弱体化を招く

議会議員のなり手不足・無投票は、議会の団体意思決定・政策立案・行政監視の各機能に大きな影響を及ぼし、議会の存在意義や二代表制の趣旨が損なわれ 地方自治の弱体を招く危機に繋がる。

講師の大正大学 江藤 俊昭教授は 議会の役割と議員のやりがい、住民に十分浸透していない点を指摘し、環境や待遇の改善と共に徹底した情報発信・公報の重要性の再認識を求めた。

その他、研修会で講演いただいたのは

○弁護士 帖佐 直美氏による

ハラスメント…自治体議員が注意すべきポイント…

○慶応義塾大学教授の 谷口 尚子氏による

将来の地方議会を担うのは誰か？



5月21日、全国町村議会議長会は、東京国際フォーラムホールにおいて、町村議会議長・副議長研修会を開催しました。

研修会には、全国から約2,000名の町村議会議長・副議長が参加しました。本研修会は昭和51年から研鑽の場として毎年開催されており、春日仁副議長と共に聴講してまいりました。

(議長) 大月 民夫

議会改革の一つ、議員報酬についての意見交換

議会改革推進検討委員会

6月28日に議員報酬について、先進的に取り組んでいる宮田村議会へ、朝日村議会と合同で意見交換のために訪問してきました。

宮田村では、日頃の議員それぞれの活動を項目ごとに所要時間を記録して見える化して、広く住民の方々に公開し知っていただくことが必要である、との貴重な提言をいただきました。

(副議長) 春日 仁



17日	12日	10日	8日	28日	25日	17日	13日	12日	11日	10日	6日	5日	31日	30日	29日	22日	21日	20日	17日	15日	23日	19日	17日	9日	8日	7日
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
松塩地区広域施設組合議会第1回臨時会	松本広域連合議会第1回臨時会	松本広域連合議会第1回臨時会	松本広域連合議会第1回臨時会	宮田村視察研修	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会
松塩地区広域施設組合議会第1回臨時会	松本広域連合議会第1回臨時会	松本広域連合議会第1回臨時会	松本広域連合議会第1回臨時会	宮田村視察研修	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会	山形村人権教育推進委員会研修会

私の一言

三人寄れば文殊の知恵

大岩 音 寧さん

(じゃんずらプロジェクト リーダー)



今年も開催される山形じゃんずらに先立って、昨年から発足した若者ワーキンググループ「じゃんぶろ」が、今年も始動しています。昨年の反省を踏まえ、最高の自由で奇数なアイデアを活かし多様な可能性を追求しております。

「三人寄れば文殊の知恵」という言葉がありますが、その三人から質の高い知恵を引き出すには、その場の状況の工夫が必要です。じゃんぶろは少人数で活動していますが、車座になり、お茶やお菓子を片手に話し合うことで、いわば固い「会議」ではない「対話」が可能な環境を作り出しています。また、ブレインストーミングの際に重要視される「批判しない」視点を心がけています。だからこそ話しやすい空間が生まれ、斬新なアイデアが引き出されると自負しております。

じゃんぶろのアイデアを実現していたいだいて教育委員会の方々ははじめ、大勢の方々に支えられてじゃんぶろが運営可能となっております。その体制には、一つの組織だけでは作り得ない「共助」の形が実現されているように感じます。先人たちが作り上げてきたじゃんずらの伝統を受け継ぎつつ、柔軟なお祭りを考案していきたく存じます。

子どもたちと育てる居場所に！

古家 茂 人さん

(山形村子どもたちの居場所 運営ネージャー)



開所から丸1年経過。子どもたちが笑顔あふれる居場所「呼称、トロッコにこにこフレンズ」となるよう、支援スタッフ6名の皆さんと孤軍奮闘してまいりました。何をしても全てが初めての取り組みでした。まさに手探り状態での運営の中で2年目を迎えた子どもたちの居場所。当初の登録児童は、4名でしたが、現在30名の利用登録となり、大勢の子どもたちが通ってくれています。

子どもたちの居場所事業は、子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感や生活習慣、学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育むことを目的とした事業です。概要は、放課後や長期休業などの児童たちが、学習習慣や基本的な生活習慣を身につけ、自然体験や調理体験、工作、外遊び等を通じた活動によって、人や社会と関わる力を育めるよう支援を行なっています。

トロッコにこにこフレンズに通う児童は「ここなら、宿題をやりたいと思う。」「イベント活動や調理体験が楽しい。」「と、口々に言う。保護者の皆さんも「宿題をやって帰宅するので、子供の日常生活に余裕を感じる。」「家庭内が明るくなった。」「などの声を多く聴くことができるようになりました。日々の暮らしの中に溶け込めるような居心地が良く、快い居場所になるよう、子どもたちと一緒に通ってトロッコにこにこフレンズをさらに成長させたいと思っています。

旬の味

令和6年の梅雨入りは平年より14日遅く6月23日に入ったようです。

我が家の庭先の梅の実も少しふくらんだ気がします。

今年の梅雨が明けたら、観測史上一番だった昨年を超える高温になると気象予報士が解説しています。

ここで我流ではありますが、私の夏バテ・熱中症対策を紹介します。必ずよく寝ることが基本です。そしてよく食べる。特にキャベツと玉ねぎを食べ、そしてスイカに塩をかけて食べれば熱中症対策もバツチりです。

秋になったらマツタケ食べたいな！

(上條 倫司)



発行責任者

議長 大月 民夫

議会広報編集特別委員会

委員長 上條 倫司

副委員長 新居 禎三

委員 小林 幸司

委員 福澤 倫治

委員 春日 仁

委員 大月 民夫